

令和7年度第2回高崎市公立大学法人評価委員会（要旨）

開催日時 令和7年12月23日（火）午後3時～

開催場所 市役所4階 庁議室

出席委員 八木委員長、上野委員、竹内委員、細谷委員

【審議内容】

事務局より「令和6年度業務実績に関する評価結果（案）」の内容について説明し、審議を行った。委員から内容についての確認があった後、原案のとおり承認された。

【委員からの確認事項・法人回答】

- ・数理・データサイエンス教育について、その中身はどういったものか。

統計学などのデータ処理、応用基礎ではプログラミングやAIの基礎、数学的な議論をする。来年度以降はPBL科目として体験的な授業をしようと準備している。

- ・グローバル教育と留学について、最近は「探究型の留学」が増えているようだが、本学ではどのような状況か。

海外派遣学生数はコロナ禍前の水準に戻っており、非常に増えている。交換留学以外にも、海外へのフィールドワーク等、探究型の活動も行っている。

- ・ハラスメントの相談件数などの実態は？

複数の窓口があり、解決までのフローチャートを整え、スピード感を持って対策を講じている。相談件数は増えていくと認識している。